ならまち
アナトミア

はじめに

奈良市の古くからの中心部である「ならまち」には、興味深い名前の小さな「町」がたくさんあります。
何と読むんだろう？　どんな意味なんだろう？　どんな方がお住まいなんだろう？
・・・地名に触れ、地図を眺めるだけでも想像力をかきたてられます。

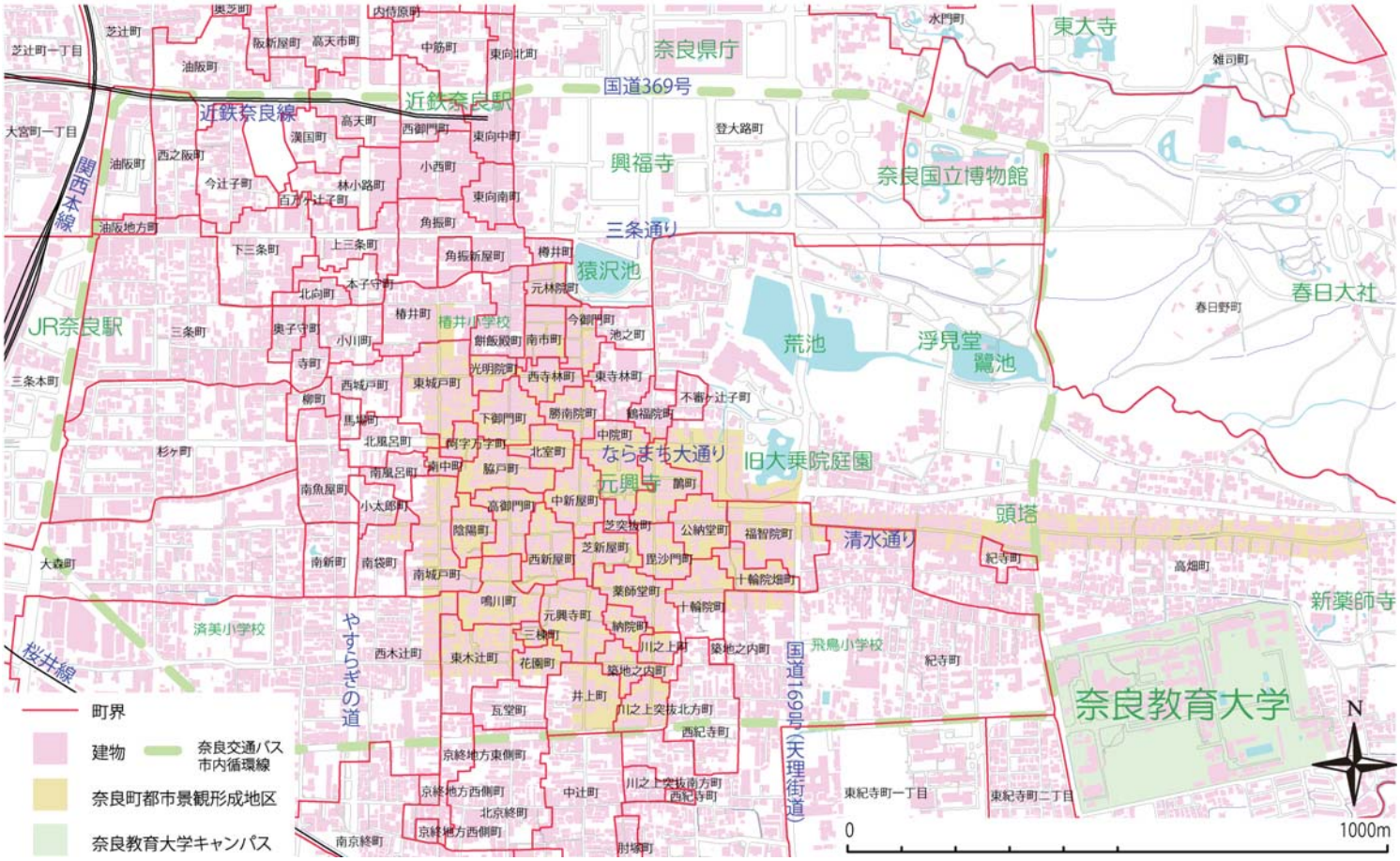
この本は、ならまちの近所にある奈良教育大学の社会科教育専修 1 回生がまとめたものです。2017 年度後期の科目「専修基礎ゼミ」で、27 名がならまちの町を各自一つずつ「マイタウン」として調べました。小学校・中学校の「身近な地域」の学習や修学旅行等で活用してもらうことを企図し、小学 6 年生に理解できる内容となるように努めました。

その過程において、飛鳥地区自治連合会、済美地区自治連合会、椿井地区自治連合会、関係各町にお住まいの皆様（特に自治会長様）、二十軒起夫理事長をはじめとする公益社団法人奈良まちづくりセンターの皆様、奈良町資料館の南哲朗館長、奈良町にぎわいの家の皆様、飛鳥公民館の皆様、奈良市の観光経済部奈良町にぎわい課および市民活動部地域活動推進課の皆様や、奈良教育大学次世代教員養成センター長（当時）で奈良まちづくりセンター理事の岩本廣美教授など、多数の方々にお世話になりました。厚くお礼申し上げます。また、本書で示している人口等のデータは、2010 年 10 月 1 日現在の国勢調査によります。

なお、本書では、ならまちの町すべてを扱うことはできていませんし、載せている町についてもまだまだ奥深い魅力があると思います。お気づきの点がございましたら、今後のためにぜひご連絡ください。

お読みの皆様とならまちの未来に、本書が少しでもお役に立てれば幸いです。

奈良教育大学准教授　河本大地



ならまちとその周辺の地図。
国土地理院の基盤地図情報，および奈良市（2017）『新奈良町にぎわい構想』を用いて作成しました。
目次の後にある「『ならまち』って何？」もあわせてご覧ください。

ならまちアナトミア
―解体！　ならまち―

奈良教育大学　イメージキャラクター
なっきょん

ならまちアナトミア　目次

◆ ならまちって何？　・・・2

◆ ならまち紹介

あ

- 阿字万字町　あぜまめ　・・・5
- 井上町　いのうえ　・・・7
- 陰陽町　いんよう　・・・9

か

- 川之上町　かわのかみ　・・・11
- 元興寺町　がんごうじ　・・・13
- 元林院町　がんりいん　・・・15
- 北室町　きたむろ　・・・17
- 公納堂町　くのうどう　・・・19
- 光明院町　こうみょういん　・・・21

さ

- 芝突抜町　しばつきぬけ　・・・23
- 芝新屋町　しばのしんや　・・・25
- 十輪院町　じゅうりんいん　・・・27
- 勝南院町　しょうなみ　・・・29

た

- 中院町　ちゅういん　・・・31
- 鶴福院町　つるふくいん　・・・33

な

- 中新屋町　なかのしんや　・・・35
- 鳴川町　なるかわ　・・・37
- 西寺林町　にしてらばやし　・・・39

- 西新屋町　にしのしんや　・・・41
- 納院町　のういん　・・・43

は
- 花園町　はなぞの　・・・45
- 東木辻町　ひがしきつじ　・・・47
- 毘沙門町　びしゃもん　・・・49
- 福智院町　ふくちいん　・・・51
- 不審ヶ辻子町　ふしがづし　・・・53

ま
- 三棟町　みつむね　・・・55
- 南市町　みなみいち　・・・57

や
- 薬師堂町　やくしどう　・・・59

わ
- 脇戸町　わきど　・・・61

◆ クイズの答え　・・・63

出典
・奈良町風土記　正編(山田熊夫、豊住書店)
・角川日本地名大辞典 29 奈良県(「角川日本地名大辞典」編集委員会、角川書店)

各町担当者
・阿字万字町…福井拓夢
・井上町…山田つきみ
・陰陽町…香川真輝
・川之上町…田島雄太
・元興寺町…畑山潤
・元林院町…古田晶子
・北室町…山本晃平
・公納堂町…上嶋あぐり
・光明院町…北畑魁人
・芝突抜町…石本告暉
・芝新屋町…石川奈緒子
・十輪院町…中西輝
・勝南院町…鈴木淳仁
・中院町…米田響
・鶴福院町…小塩
・中新屋町…讃岐友唯
・鳴川町…松倉佳紀
・西寺林町…大船
・西新屋町…山田希美
・納院町…松田直樹
・花園町…杉山晴菜
・東木辻町/三棟町…小野明日香
・毘沙門町…阿部孝哉
・福智院町…藤本七彩
・不審ヶ辻子町…山下大貴
・南市町…山之内健人
・薬師堂町…高田理生
・脇戸町…大井麻莉菜

「ならまち」って何？

ならまちは興福寺と猿沢池からほんの少し南に位置している。町の多くが元興寺の旧境内にあたる。ならまちには世界遺産である元興寺をはじめとし、古くからある多くの寺社が立ち並ぶ。現在では「なら・まほろば景観まちづくり条例」に基づくまちづくりが進み、多くのお店や飲食店が存在する。また、博物館や陶芸工房・墨製造工房といった昔ながらのならまちを楽しめる施設もある。こういったまちづくりが進む中でも、18 世紀・19 世紀の建築様式をそのまま受け継いでいる家屋が多く、古風な雰囲気を味わうことができ、一日中まちを散策して楽しめるようなまちとなっている。

〈奈良町都市景観地区について〉

1984 年に社団法人奈良まちづくりセンターを設立。

ならまちを伝統的建造物群保存地区へと誘導したが、失敗に終わる。

1990 年に奈良市は奈良市都市景観条例に基づき「奈良町都市景観形成地区」を指定する。

2010 年に奈良市都市景観形成条例が改正され、「奈良町都市景観形成地区」は「なら・まほろば景観まちづくり条例」に基づく形で指定される。

あぜまめちょう
阿字万字町

面積　3816㎡
世帯数　6世帯
人口　17人

歴史

江戸時代には宿割町(しゅくわりまち)となっていて、薪能(たきぎのう)と春日若宮祭に出演する能役者や若宮祭に参勤する大名の役人衆の宿泊所を提供していました。

地名の由来

空海がこの「阿字万字」の秘符(ひふ)をこの町に納めたのでついたという説と、城戸町と脇戸町とを結ぶ畦道(あぜみち)に豆を植えていたので町名となったという説があります。

[阿字万字町の特徴]

その①　辛国(からくに)神社

阿字万字町の人々は毎年5月に東大寺の東側に位置する**辛国神社**という神社に参拝(さんぱい)しています。神前には阿字万字町からの奉納(ほうのう)の**灯篭**(とうろう)があります。

人々に障害を加える天狗を改心させていたことから**天狗社**とも呼ばれています。

ぜひ、訪れてみてください。

その②　なら工藝館（こうげいかん）

なら工藝館とは、長い歴史の中で研ぎ澄まされてきた**奈良工芸の一層の振興発展**を図るために、（1）受け継ぐ　（2）創作する（3）開放する　の三つを基本理念としてこの阿字万字町に建てられた施設です。奈良人形や墨、奈良筆などの奈良の伝統工芸品はもちろんのこと、個人・企業・グループなど独自の作品も展示されています。また、工芸教室があったり、「朱雀絵絵画展」などの工芸に関するさまざまなイベントもあります。入場料無料で、購入できる工芸品もありますので、ぜひ訪れてみてください。

クイズ！

阿字万字町の工藝館には2008年にある国の皇太子夫妻が訪れました。ある国とは次のA,B,Cのうちどの国でしょう？

A, イギリス

B, オランダ

C, デンマーク

いのうえちょう
井上町

面積　1606㎡
世帯数　29世帯
人口　80人

地名の由来

奈良時代、聖武天皇の娘の井上内親王が今の井上町のあたりに閉じ込められ（幽閉され）、
その魂をしずめるための井上神社がまつられた。
そこから、井上町とよばれている。

井上町にある施設

- 鹿の船（お食事処やショップ）
- 能面教室
- アジアンショップ
- 天理教奈良大教会
- 高林寺　など･･･。

町民の方にお話を聞くと、井上町では、1990年ごろにマンション建設反対運動が行われたという過去があったそう。反対運動が実り、マンション建設案は白紙になった。

井上町が保管する十一面観音立像

井上町の会所には、木造の十一面観音立像が2体安置されています。1体は、室町時代に、もう一体は鎌倉時代に制作されたんだって(^▽^)/

2体とも木造であり、鎌倉時代に制作された十一面観音立像は奈良市指定文化財に指定されているよ♡

毎月、17日には観音講というのが営まれていて、井上町全体でとても大切にされている十一面観音像なんだね(^_-)-☆

クイズ！

井上町の中には、市内循環のバス停があります。しかし、井上町という名前のバス停ではありません。なんという名のバス停でしょうか？

いんようちょう
陰陽町

面積　6848㎡
世帯数　20世帯
人口　52人

歴史

庶民が最初に手にした暦といわれる奈良暦(南都暦)が作られていた。町内にある鎮宅霊符神社は陰陽師の神と仰がれる天御中主神(あめのみなかぬしのかみ)を祀っている。

地名の由来

時を司り、暦を作っていた陰陽師たちが住んでいたところからつけられた町名。

施設

・奈良町からくりおもちゃ館
平成24年(2012年)にできた施設で昔ながらのおもちゃにふれて遊ぶことができる

・鎮宅霊符神社

陰陽師の神様として古くから祀られている。

陰陽師の仕事は「暦」(カレンダー)を作ることで、古くは高畑方面や幸町などに住んでいた陰陽師が集められた。

クイズ！

奈良町からくりおもちゃ館は
元はなにの建物だったでしょう？

1、観光目的のために新築された

2、料亭の別宅を改装した

3、昔からの家を改装した

かわのかみちょう

川之上町

面積　4065㎡
世帯数　27世帯
人口　47人

地名の由来

かつて飛鳥小学校から川之上町を通り、築地之内町を経て元興寺町へと流れている川があった。川之上町はその川の上流に沿っていたことから名づけられた。

その川は古くは元興寺を飛鳥寺と呼んだことと同様に、明日香村にちなんで飛鳥川と呼ばれていた。

ならまち陶芸教室「つちのかい」

創業者の福森さんは父の影響で陶芸を始めた。この陶芸教室は1998年に開業された。基本的には予約制だが、体験に空きがある場合は飛び込みでの参加も歓迎している。

川之上町街区公園

川之上町街区公園は都市公園法に基づいて設置された。法律の規定上、遊具などを設置する面積は50分の1までとされている。それは住宅街の中の緑地を守るためである。

クイズ！

川之上町街区公園にある石碑は大蔵弥右衛門という人を讃えるものですが、大蔵 弥右衛門はある有名な戦国武将から現在の川之上町にあたる土地を譲り受けました。その武将とは一体誰でしょう？

がんごうじちょう

元興寺町

面積　15223㎡
世帯数　39世帯
人口　102人

歴史

江戸期は様々な店が立ち並ぶ問屋街として栄えていたが、近鉄奈良駅、東向商店街の発展につれて廃れていき、現在は住宅地になっている。

地名の由来

元は元興寺の境内で講堂三面僧房等の旧跡であったことにちなんでいる。

古くから続くお店

砂糖傳(さとうでん)は、安政元年(1854年)の創業以来、ずっと営業を続けている老舗。

こだわりの砂糖(和三盆、黒糖など)を取り揃えられています。

砂糖傳

イベント

自治体が主体となって、住民向けに、健康のための歩こう会や、見回り会をやっているそう。

町の自慢

昔から人々の付き合いがとても深いこと。近所の人が普段何をしているか、今どこにいるのかなどが大体わかるのだそう。

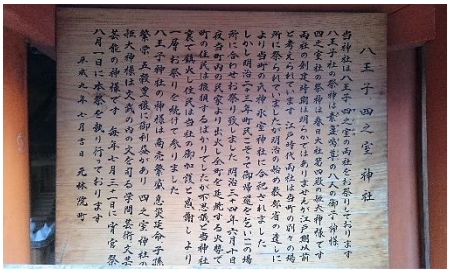
お年寄りが多いので、健康管理や、防犯などにも役立っているのだとか。

今回インタビューさせて頂いた
自治会長さんのお宅
（中井酒店さん）

クイズ！

元興寺町にある、砂糖傳のお店の名前の由来は何でしょうか？

元林院町（がんりいんちょう）



面積　6324㎡
世帯数　19世帯
人口　39人

町の歴史

江戸時代には興福寺・春日大社を描く絵師たちが多く住み込み、「興福寺の絵屋町」とも呼ばれていた。明治34(1901)年に大火にみまわれるが，その後「芸者の町」としてはなやかな繁栄を迎える。大正時代には二百数十人ほどの芸者がいたという。

現在では花街復興プロジェクトが立ち上がっている。

地名の由来

興福寺の別院「元林院」にちなむとされる。

八王子四之室神社（はちおうじよのむろじんじゃ）について

元林院町内にお社があり，現在も自治会で管理されている。朱色の鳥居が特徴。

八王子権現(素戔嗚尊（すさのおのみこと）の御子神)と姫大神(四之室=春日大社第四殿のこと)が祀られている。

上述したように明治34年に町で大火が起こったとき，このお社の裏で火がおさまったという。このことは神社のご加護であるとして感謝した，と現在に伝わっている。現在も毎年8月1日に祭礼が行われている。

自治会長の娘さんのお話

興福寺が近いので，朝6時・昼12時・夕方6時になると鐘の音が聞こえてきます。また，線香のにおいがしたり，春先には奈良公園の芝生のにおいがしたりと，季節を感じることができます。

昔から住んでいる人が多いので，人と人のつながりや結びつき，家族の絆が強いです。昔は当たり前だった，いたわりあい思いやる気持ちに気づかされることがあると思います。

今後の町のありかたとしては，「町の発展」というよりは，「静かな雰囲気を持続させる」「今あるものを大事に」という思いが強いです。

クイズ

元林院町には「遊中川」というお店があります。ここではどんな商品を取り扱っているでしょうか。

←元林院町の方角からみた猿沢池と興福寺。

↓八王子四之室神社。

きたむろちょう
北室町

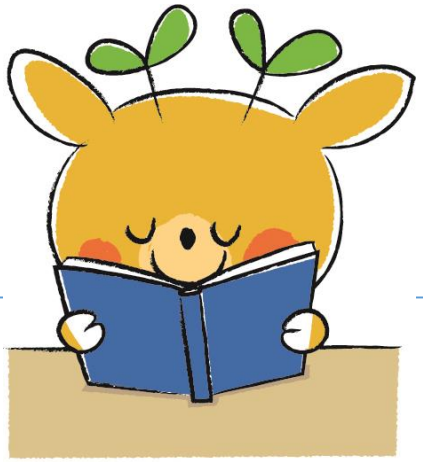
面積　6336㎡
世帯数　40世帯
人口　89人

歴史

江戸時代から続いている地名である。
小刀鍛冶や東大寺大仏師の家があったとされている。古くから住宅地とされていた。

地名の由来

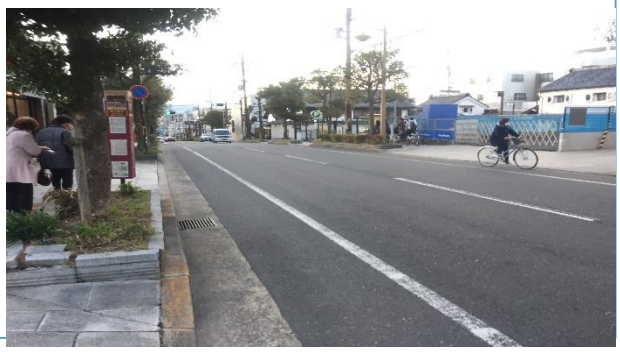
地名の由来は、もと元興寺伽藍の僧房北室に由来すると言われている。
僧房とは、寺院内において僧侶が生活を送る居住空間及びその建物自体を指す。主に寺院を一番南としその周りに東室（ひがしむろ）・北室（きたむろ）・西室（にしむろ）といったように僧房が設置されていた。その名残が現在にも残っていると言われている。



現在の北室町

現在では、ならまち大通りを挟むように位置している。

観光地としてのならまちというよりは住宅が広がっているためならまちの人達の生活感じられるようになっているように思う。地元の方も、昔ら居住空間として使われてきた名残が今にも残っているのではないかとおっしゃっていた。

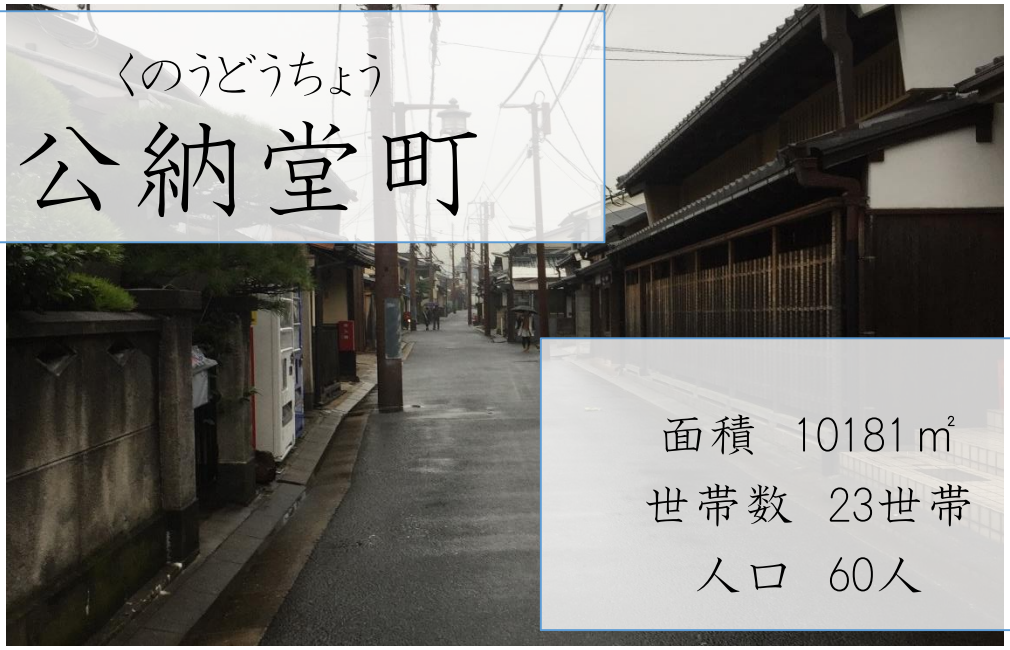


クイズ！

北室町はならまち大通りを挟んで北側と南側どちらが住宅が多いでしょう？

くのうどうちょう

公納堂町



面積　10181㎡
世帯数　23世帯
人口　60人

歴史

『奈良七郷記』(1529年)にその名がなく、天正二年の『地子帳』(1574年)に名を載せているところから、天文(1532～1555年)のころに町屋となったのであろう。

地名の由来

元興寺の禅定院の公納所(税を納めるところ)がこの町の北側東端にあったので町名となった。

平和な町

このページを執筆するにあたり、公納堂町の自治会長である吉田幸男さんにお話を伺いました。その中で公納堂町がどのような町なのかという質問に対し、「平和な町」と答えてくださいました。生まれたときからならまちに住む吉田さんですが、大きな事件や事故もなく、住民の出入りも少なく、和気あいあいと暮らせる町であるとおっしゃっていました。

そんな公納堂町ですが、高齢化が進んでいるといいます。若い人がこの町から出て行ってしまうのです。ご両親などがお亡くなりになられると、この町に戻ってきて家を継ぐという方もいらっしゃるそうですが、それでもやはり高齢化は深刻な問題であるそうです。吉田さんも、若いころはこの町を出たいと思っていたといいます。しかしある程度年を重ねてみると、この町は実に住みやすく、実にいい町であると気づいたのだそうです。実際町を歩くと分かりますが、閑静で昔の街並みが残り、とても素敵な町です。「平和な町」、まさにそう呼ぶにふさわしいところであるなと思えます。

クイズ！

公納堂町には、『あるキャラクター』のおうちがあります！　いったいなんのキャラクターかな？　探してみよう！

ヒント：
奈良に関係があるキャラクターです。

こうみょういんちょう

光明院町

面積 4736㎡
世帯数 13世帯
人口 35人

歴史

江戸時代から、20軒ほど家々が存在していました。中にはお医者さんもいたようです。

地名の由来

昔、興福寺というお寺の別院(お寺の出張所のようなところ)がこのあたりにあり、その名前が光明院といったことから、この名前が付きました。

光明院町はとても小規模な町ですが、その中にたくさんのお店があります。ここでは、その一部を紹介します。

◎グルメ

・精肉店「おかにし」…JR奈良駅の近くにある岡西精肉店の支店で、揚げたてのコロッケやミンチカツを食べることができます。コロッケは1個100円で、揚げたてなのでとても美味しいです。

精肉店おかにし→

◎グッズ

・ねっとわーくぎゃらりー ならっぷ
伝統的な奈良蚊帳の織物素材を利用したものを売っているお店です。ブックカバーや手ぬぐい、枕カバーなどを販売しています。
　また、店内ではケーキや飲み物なども売っていて、そのまま店内で食べることができます。
　かわいい猫や美しい風景をモチーフにした作品の数々はとても可愛くて、見ているだけでいやされます！

クイズ！

**　光明院町のお店のなかで、一番古い歴史をもつ岡本友芳軒。今年2017年でなんと、創業から○○年になります！　さて、一体何年になるでしょうか？**

しばつきぬけちょう
芝突抜町

面積　7835㎡
世帯数　9世帯
人口　31人

歴史

旧名を弥勒辻子（みろくずし）といい、俗に狐辻子という。寛文年間～貞享年間頃作製と推定される元禄16年写の和州南都図には、「きつねかつし」とあり（天理図書館保井文庫）、貞享4年の「奈良曝（ならさちし）」にも狐が辻子と見え、町役13軒と記す。宝永年間町代高木又兵衛諸事控（県立図書館藤田文庫）には、米屋2軒が知られる。寛永8年の役家数13、元禄2年の家数22、借家12、享保14年の役家数13、家数22、借家10（奈良市史通史3）能と春日若宮祭に出演する能役者や若宮祭に参勤する大名の役人衆の宿泊所を提供する宿割町（しゅくわりまち）になっていた（奈良町雑録）。安政6年2月28日隣町の毘沙門町（びしゃもんちょう）から出た火災で当町民家がほとんど焼失した（奈良市災害編年史）。

地名の由来

芝はもと元興寺境内で荒廃して芝原となっていたことに由来し、東方の鵲（かささぎ）町に街路を開いたので突抜町といったと記す。

おすすめのお店

・カフェここはな

おっとりとした雰囲気でラジオが流れていて、読書などをするのにはもってこいの場所。

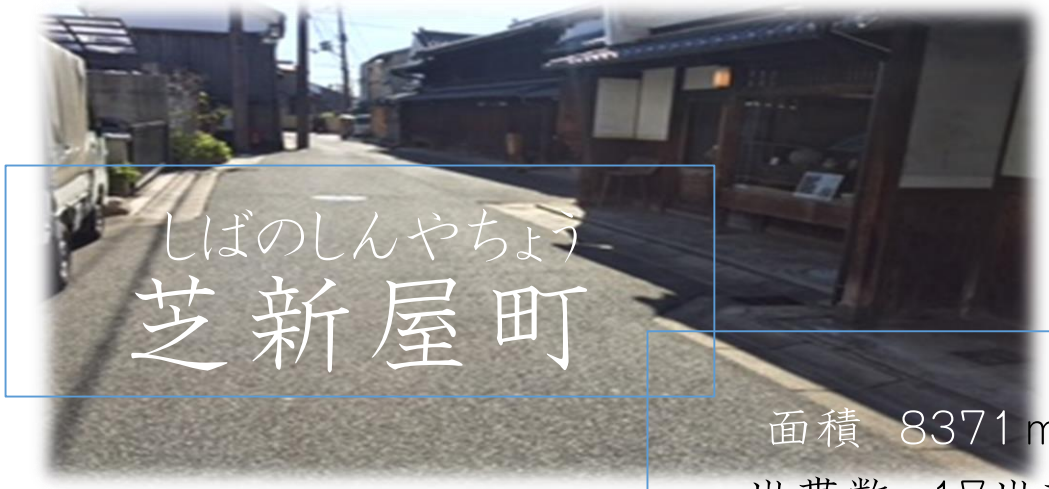
コーヒーやスナックだけでなく、店の奥に行くと、私たちみたいな若向けではないが、古着も売っている。

値段もそんなに高くないので一度行ってみてください!(^^)!

クイズ！

芝突抜町は民家に月当番という掛札がかかっているが、それはなんのためのものでしょう？

1、シカのふんのそうじ
2、ゴミ捨て、廃品回収
3、あいさつ当番



しばのしんやちょう
芝新屋町

面積　8371㎡
世帯数　17世帯
人口　80人

歴史・地名の由来

昔大火災が起きた後の草むらだった土地に、次々と民家ができていった。
町名は江戸期から変わっていない。

豆知識

・ならまちの中でも古い町並みが多く残っていることで有名
・町自体の行事や祭りなどはない。
・職人さん（生け花、お茶、陶器など）が多く、外国の方の移住も多い。
・住宅が階段状になっている
（戦乱のとき、隠れながら逃げられるようにするため）

吉田蚊帳（よしだかや）

戦後吉田蚊帳として営業開始。

蚊帳だけでなくコースターやテーブルクロス、布巾など日常でもよく使えるものも販売しています。

寧屋工房（ねいやこうぼう）

この建物は25、6年前に建てられ芝新屋町で最も新しい建物になっています。綺麗な赤膚焼が制作・販売されています。

クイズ！
現在のならまちで蚊帳を作っている店は何軒あるか？

①1軒
②2軒
③3軒
④5軒以上

じゅうりんいんちょう

十輪院町

面積　13561㎡
世帯数　25世帯
人口　56人

歴史

江戸時代から現在まで使われている町名である。十輪院ももとは元興寺の勢力下にあったが、元興寺の勢力が衰えてきた頃から独立したとされ、町内にある法徳寺や金躰寺も同じく独立してできたものとされる。

地名の由来

町の名前の由来は十輪院である。

十輪院について

この町のメインである十輪院の本堂は国宝、南門は重要文化財となっています。元は大寺院だった元興寺の別院とされ、元興寺の勢力が衰えたころから個別の寺として独立したようです。

グルメ

・めしあがれ(フランス料理)
ランチ2800円～
ディナー5000円～と高級店

・うとうと(田舎料理、出張料理)
仕出し、弁当の配達と昼一組、夜一組の営業

クイズ！

奈良県のマスコットキャラは「せんとくん」ですが、それに対抗して作った十輪院のマスコットキャラの名前は何でしょう？

←十輪院の様子

しょうなみちょう

勝南院町

面積　9694㎡
世帯数 49世帯
人口　94人

歴史

元興寺の寺内町として栄えた。

地名の由来

元興寺の一院である勝南院があったところから町名になったといわれている。住吉神社前に井戸があって、その井戸から潮波が湧き出したというところから「汐浪井」と呼ぶようになり、そこから勝南院というようになったともいわれている。

現在の町の様子

昔の家の形や景観を維持している家が多く立ち並んでいる。また、とんかつ屋や郷土料理の食べられる飲食店が新しくできたりしている。そのため、大きなパーキングができた。これにより、車の通りが多くなり町の中でも観光客や外国人を見かけるようになった。

勝南院町の家の様子

外観は、虫籠窓（むしこまど）を設けており、両側に袖うだつをつけています。

中には通り土間が維持されているなど伝統的な家屋を維持しています。そのため登録有形文化財に指定されている家もあります。

←老舗のお茶屋さん

クイズ！

第一問

勝南院町にある神社の名前は何でしょう？

第二問

勝南院町にある飲食店「粟」というお店で食べられる奈良県伝統野菜を総称してなんというでしょう？

ちゅういんちょう
中院町

面積　15312㎡
世帯数　23世帯
人口　59人

歴史・地名の由来

今の中院町がある地区は奈良時代には元興寺の境内であり、中院があったためにその名前をそのままとり、町名となった。

中院町のみどころ

・をかし東城

このお店はケーキ屋さんで、奈良の地酒や季節の果物を使ったケーキが美味しいお店です。私自身は右の写真のようなブルーベリーがのったチーズケーキを食べました。チーズのまろやかさとブルーベリーの酸味がとてもマッチングしていて良い味がしていました。

でんとうおかしどころ
・傳統御菓子處　おくた

1899年に創業し、今は4代目の店主が経営していらっしゃる伝統のある和菓子屋さんです。右の写真に写っているみたらし団子は香ばしく素朴な味がするおくたの一押しの和菓子です。

よろずおんかしあつらえどころ　かしや
・萬御菓子誂處 樫舎

上生菓子や季節のお菓子、干し菓子を扱っている和菓子屋さんです。右の写真は干し菓子でふんわりとした食感と甘い味が特徴のおすすめのお菓子です。

元興寺　極楽坊

奈良時代からあるお寺で、極楽堂や禅室、展示されている五重小塔は国宝として指定されています。また、秋は境内の紅葉が美しく、趣のある景色が広がっており、おすすめの観光スポットです。

クイズ！

元興寺　極楽坊　極楽坊は何時代からあるでしょうか。

①飛鳥時代　②奈良時代　③室町時代

つるふくいんちょう

鶴福院町

面積　5507㎡
世帯数　27世帯
人口　56人

歴史・地名の由来

戦国期から元興寺境内の一部で、鶴福橋という小橋があり、鶴福院郷と呼ばれていた。

江戸期の「奈良坊目拙解」によると、興福寺坊舎の鶴福院の旧跡にちなむといい、鶴を本来は音読みにするところを訓読みで「ツル」と読んだため、音訓混合の地名になったとのこと。

もとは西側が元興寺境内、東側が定禅院境内で、一揆などの兵火以降人家となる。またはじめは南半分が北鵲町といい、北側の鶴福院が廃れて民家になるとともに鶴福院町となったとある。北の入口には江戸期までは橋がかかっていたことが記録に残っている。

昔から商売を営む家が多く、春日若宮祭に出演する能役者や参勤する大名役人衆の宿泊所を提供する宿割町でもあった。

ここ最近になって、奈良市は鶴福院町を南北に通り、猿沢池や52段の階段と、ならまち大通りをつなぐ「猿沢線」の拡幅事業を発表した。これは新規で発表された案件ではなく、60年ほど前に一度挙がった内容であるが、当時とは町並みや機能も様々に変わっており、地元住民は反対している。それを示すかのように、猿沢線には「道路拡幅絶対反対」と書かれた旗が何本も立てられており、署名運動も行われているようだ。しかし実際、車の行き違いが困難なほど道は狭く、観光客にとっても決して安全とは言えない道路となっている。また猿沢池周辺には大規模なホテルや旅館が多く存在し、観光バスがひっきりなしに入ってくるが、その動線として猿沢線が有効に活用できていないのは事実である。景観的にも、観光地としての発展にも大きく関わる事業であることは間違いない。今後の動向が注目される町である。

クイズ！

猿沢池から鶴福院町を通り、ならまち大通りへ抜ける通称「猿沢線」という道は、観光バスが通ることができるでしょうか？

なかのしんやちょう
中新屋町

面積　11129㎡
世帯数　42世帯
人口　123人

歴史

江戸時代は奈良町の南部に位置し、勝南院町の南、柴の新屋町の北に接する南北通りの街区。天正年間から永禄年間に町屋になった。

地名の由来

江戸時代から現在の町名。もと元興寺境内中院の余地で、寺内中之通路であったことにちなみ、宝徳3年の火災で伽藍が焼失したあと新たに町屋となったので新屋町と呼ばれる。

奈良町物語館

1階：ギャラリー、コンサート、作品展などのイベントスペース
2階：奈良町に関する文庫や事務所

奈良町にぎわいの家

町屋を利用し、季節に合った展示が行われている。

中新屋町で行われている定期活動

・県政・市民だより・その他広報誌等の配布及び回覧
・ごみと資源分別収集、エコロジー支援
・町づくりの試み（あさがお栽培・すずむし飼育・地蔵会など）
・安心のある町づくり
（済美地区防災講演会参加・夜回り・防災訓練参加など）

クイズ！

現在奈良町にぎわいの家として利用されている町屋はおよそ何年前に建てられたでしょう？

なるかわちょう

鳴川町

面積　14279㎡

世帯数　28世帯

人口　74人

歴史

お坊さんがお経を読むのを邪魔する蛙の声をやめさせたので不鳴川と称し、誤って鳴川と伝わった。

地名の由来

ほかの場所より標高が高く川の流れが速く、大雨の時に水音を立てるため鳴川になった(諸説ある)。

徳融寺

高林院と号する元興寺の塔頭(寺を守っている僧侶や家族が住む)であり真言宗に属する江戸時代は寺子屋になっていて、済美小学校の前身になっている。

奈良市音声館

奈良市音声（おんじょう）館は出来て平成6年にでき、災害時の一時的な避難場所にもなっている。普段はミニコンサートや展示会などが行われている。

クイズ！

聖光寺には犬がいますが、その犬に絶対してはいけないことがあり、お寺には注意書きも書いてあります。絶対にしてはいけないこととは何でしょう？

にしてらばやし

西寺林町

面積　5833㎡
世帯数　49世帯
人口　88人

歴史

室町時代から江戸時代まで西寺林郷という名称だった。江戸時代から西寺林町という名称になる。

明治22年に奈良町に、明治31年に奈良市に属する。

地名の由来

かつてこの辺りは元興寺の境内（けいだい）で、その西側の樹木が覆（おお）い茂っていたところからこの町名になったと言われている。

町の基本情報

町の大部分は**商店街**で東西に通る道路を挟んで20軒ほどの趣（おもむき）のある商店が立ち並ぶ。
また日本だけでなく、海外からの観光客でにぎわっている。

しかし、自治会長さんによると住民の多くはお店の経営で忙しく、町内協力が全くないためこれから考えていくことが課題とのことである。

古くからあるお店

自治会長さんのおすすめ
お好み焼き屋さん（団）や一品
料理、飲み屋（おんどり）

なかなか風情があり
ひと昔前にタイムスリップしたようだ。
地元の方だけでなく、観光客の
方にもファンが多いそうだ。

クイズ！

このお店は町屋を改造したお店ですが
一体何のお店でしょう？

にしのしんやちょう
西新屋町

面積　11593m²
世帯数　35世帯
人口　122人

歴史

江戸期は奈良町の南部に位置し、芝新屋(しばのしんや)町の西、高御門町の東にある。もとは元興寺(がんごうじ)小塔院の敷地であったが、焼失後に人家が進出したという。

地名の由来

新在家あるいは新町の意による。

施設

- 奈良町資料館　民俗資料や仏像や骨董品などを展示している
- 小塔院跡(しょうとういん)　真言律宗の寺院
- 庚申堂　庚申信仰の奈良の拠点
- 率川神社(こうしんどう)　元興寺の鎮守神として飛鳥の地からここに移された

↓小塔院跡

↓庚申堂

奈良町　庚申(こうしん)さんの由来

700年に疫病が流行し、人々が苦しんでいたとき、元興寺の僧が佛様にその加護を祈っていると、1月7日に青面金剛(しょうめんこんごう)が現れ、「悪病を払ってやる」と言って消え去ったあと、間もなく悪病がおさまった。

それ以来、人々は青面金剛を祀(まつ)り、悪病を持ってくると言われる「三尸の虫（さんしのむし）」を退治して健康に暮らすことを念じて講を作り、佛様の供養をしたと、この地で伝えられている。

https://ja.wikipedia.org

クイズ！
この柵はなんのためにあるでしょう？

納院町（のういんちょう）

面積　4587㎡
世帯数　25世帯
人口　41人

町名の由来･歴史

もとは元興寺の土地であり、税を納めるところだった。しかし、元興寺の勢力の衰えにより町として独立する。

その後、「八色のあきない（いろいろな商売）をせしゆへ八屋の長者」「八屋の辻子」と言われた裕福な商人、蜂屋家が移り住み、八王子社の別名「蜂屋（八屋）神社」として名前を残した。

蜂屋家が裕福であったときに、「金銭は減りやすいので子孫に残しづらい」と考え、井戸に金銭を蓄えようと、石を積み重ねて金を埋めた。しかし、後世に子孫がいざ金を掘り返そうとしたところ、石が固まっており金は見つからず、結局蜂屋家は衰えてしまったと伝わる。

八王子社

八屋神社あるいは蜂屋神社とも呼ばれる。

薬師堂町の**御霊神社**の摂社とされている。

摂社とは…
神社本社とは別に、その神社の管理に属し、その境内または神社の附近の境外にある小規模な神社のこと。

街の雰囲気

町内を通っている道路は一本のみで、町の広さは、その一本の道路を挟んで立ち並ぶ住宅の範囲のみという、とても小ぢんまりとした静かな町。

クイズ！
戦国時代に活躍し、蜂屋家を裕福にした蜂屋紹佐の身分はなんでしょう？

1　茶人
2　武士
3　大名

はなぞのちょう
花園町

面積　6149㎡
世帯数　21世帯
人口　41人

歴史

花園町は鎌倉期は花園郷と呼ばれ、江戸期になると花園町と呼ばれるようになった。

地名の由来

かつて元興寺に供えるための花を育てる花園があったといわれているため。

花園町のお店

小さい町だが、昔は呉服屋（ごふくや）、酒屋、駄菓子屋（だがしや）、温泉があった。今は温泉しか残っていない。

花園町の今と昔（ご老人の子ども時代）

～町の交流～

昔…町の人たち同士の交流が盛んだった。町には子どもがたくさんいて子ども会があり、町内運動会や町内旅行があった。また、町にお地蔵さんがいたときは地蔵盆（じぞうぼん）（子どもたちの成長や幸福を願う祭り）もあった。

今…町の人たちの交流が少なくなった。昔にあった子ども会が無くなって昔から住んでいる人も少なくなった。今ある交流は2年に一回の新年会だけになってしまった。

～温泉のあり方～

昔…たくさんの人が顔を合わせてにぎわっていた町の小さないこいの場であった。

今…家にお風呂が常置され、昔配布されていた割引券も無くなり、温泉に来る人が少なくなってしまった。昔のいこいの場がなくなりつつあり、他の町の温泉も店を閉めてしまっている。町のいこいの場をどのように守っていくかを考えなければならない。

クイズ！

花園町には上記にも書いてあるように花園温泉があります。この温泉にはいろいろな人に楽しんでもらうために面白い工夫がなされています。どのような工夫が施されているでしょう？　以下の2つを考えてみよう！

・観光客にむけての工夫

・町の人たちへの工夫

ひがしきつじちょう
東木辻町

面積　19562㎡
世帯数　114世帯
人口　213人

歴史

若い人や僧侶、旅人や商人が多く訪れ、かつては300年以上続く遊郭(ゆうかく)が栄えた。終戦後、売春禁止法の制定と共に遊郭は喫茶店や旅館などに姿を変え、今ではすっかり住宅地である。

地名の由来

東木辻町とは、1889年(明治22年)からの町名である。慶長(けいちょう)のころ(1600年ごろ)、現在の東木辻町に地蔵菩薩(じぞうぼさつ)を安置していた辻堂があり、その傍に一本の大樹があったので木辻と呼ぶようになった。

東木辻町で旅館・静観荘を営む増森茂樹さんのお話

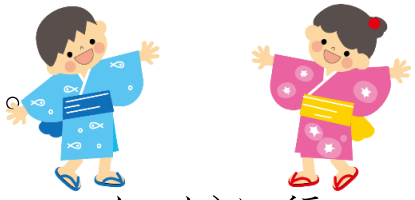
Q. いつから旅館をしていますか
A. 終戦後からです。今は外国人をターゲットにしています。昔は遊郭でした。この建物も1916年に建てられました。

Q. 100年前から？

A. そうです。変わっていくことも良いけれど、私たちは変わらない良さもあると思っていますから。古い良さを残していこうと。

Q. 東木辻町での取り組みは？

A. 毎年七月に夏祭りをします。
でも、最近は高齢化やからね……。



Q. 東木辻町の良いところは？

A. 外国人の方がビッグナラ(スーパーマーケット)に行って落とした財布が交番に届くくらい、平和な町ですよ。

クイズ！

↑木辻格子

東木辻町にかつてあった木辻遊郭。その遊郭の建物に使われていた独特の木辻格子がありました。現在ではたった一つしか残っていません。

さて、これはどこにあるでしょう？

・・・・

ヒント：東木辻町ではない、ならまちのどこか！

びしゃもんちょう

毘沙門町

面積　203105m²
世帯数　10世帯
人口　19人

地名の由来

町の西側に毘沙門天という神様を置く「毘沙門堂」という建物があることから毘沙門町という名前がついた。この毘沙門天は信貴山にあったものだったが、昔(詳細は不明)戦いがあったときにこの近くに持ち運ばれて、現在の毘沙門町の近くに捨てられていたため、この毘沙門堂に置いたといわれている。現在は法徳寺にあるとされている。

↓ 毘沙門町の由来を説明する看板

近鉄奈良駅から徒歩で約13分のところにある毘沙門町は公納堂町・十輪院町・薬師堂町・芝新屋町・芝突抜町・鵲町などの多くの町に接する。

18世紀初めには春日若宮祭に出演する能役者や、参勤する大名らに宿泊所を提供する町として栄えた。

昭和30年頃には、毛糸屋さんに下駄屋さん、パン屋さんに豆腐屋さん、仏壇屋さんなど多くの店が立ち並びにぎわっていたが、今はその面影はなく、ほとんどお店が閉まっている。

2か月に1回雑誌などの廃品回収をしており、得たお金は近くのお寺に納めている。

また、元興寺にとても近く、精神的な恩恵があることがこの町ならではのいい点だと自治会長さんはおっしゃった。

クイズ！

毘沙門町にあるカフェ「Franz KAFKA」の看板に描かれている動物は何でしょう？

①鹿
②ウサギ
③アルパカ
④カバ
⑤犬
⑥キリン
⑦ライオン
⑧アルマジロ
⑨サメ
⑩ヒト

ふくちいんちょう

福智院町

面積　23992m²

世帯数　39世帯

人口　97人

福智院町の”むかし”

福智院町は室町時代になる前の大きな内戦の時に福知院郷として書物に記されているのが始まりと言われています。江戸時代まで現在の奈良ホテルのあたりまでを興福寺で春宮坊として働いていた福智院家が支配し、大変平和な治世でした。しかし明治時代になってそれまでの古い習慣をなくしてしまおうとする社会の動きの中で、仏教や神道に対して行われた弾圧運動によって福智院家は生活が苦しくなり、お酒を造っている今西家に建物を引き継いで、福智院家の人々は京都や北海道など、様々な地方に転居していきました。

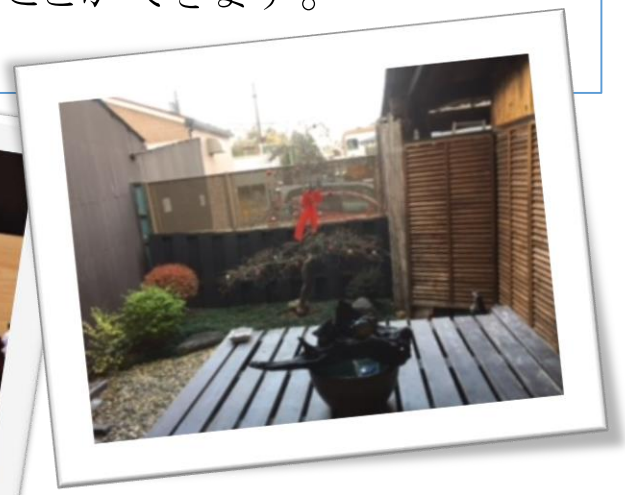
福智院町の”いま”

福智院町には今も歴史ある建物が残っています。その中から今西家書院とうどんカフェ麺喰をご紹介します。

今西家書院は、以前福智院家一族が住んでいた建物を今西家が現在まで丁重に保存してきた建物です。角度によって明るく見える場所が違う天井や、和紙を何枚も重ねたため、

触るとふかふかあたたかみのある壁など現代の科学技術と同じくらい高度な伝統のある技術が用いられています。

うどんカフェ麺喰は古くからあった民家を改装したカフェです。5年ほど前に香川県で料理修行をしていた店長がならまちに移住してこのお店を始めました。奈良の食材を使ったご飯や飲み物を楽しむことができます。



クイズ！

1. 今西家書院では建物の修繕に使う資材を少なくするため、木材をある特殊な方法で用いて修繕しています。それは一体どんな手法でしょうか？

2. うどんカフェ麺喰には入り口メッセージをかけるところがあります。
それを見て気付いたことをここに書いてみましょう。

ふしがづしちょう

不審ヶ辻子町

面積　659㎡

世帯数　21世帯

人口　54人

歴史

不審ヶ辻子という名前は江戸時代につけられてから変わっていません。東は大乗院門跡で西の袋小路であり古くは、西隣の鶴福院領内であったとされ、能役者や大名役人衆の宿泊所を提供する宿割町だったとされています。

地名の由来

貞享4年(1687)に鬼遠山の鬼神を捕まえようとしたがこの土地で姿を見失ったのを辻占が、不審が辻といったところからきています。

町の特徴

鶴福院町・高畑町に隣接しており、また近鉄奈良駅から徒歩10分程度で訪れることができます。大きな商業施設や商店街はなく、古き街並みを残した静かで穏やかな町です。ならまち大通りから不審ヶ辻子町に入る際の大きな木は撮影スポットとなっており、外国の方が多く訪れています。秋に訪れるのがおすすめです。

施設としてはcafeあいいろと
ゲストハウスたむらの二つがメインです。
ゲストハウスたむらは
ネット評判もよく多くの方が利用
しています。自家製米を利用した
朝食は絶品であり、リピーターも
多いそうです。一度は泊まってみた
いものです。春日大社や東大寺
興福寺など奈良を代表する寺社の
近くにあるため奈良観光には
うってつけの立地です。町の名前も
気になると思うのでぜひとも！
不審ヶ辻子町を訪れてほしいです。

↑ 1枚目の大きな木

クイズ！

不審ヶ辻子町の地名の由来に出てきた辻占とは今の職業ではなんでしょうか？

①占い師　②催眠術師

③僧侶　④マジシャン

みつむねちょう
三棟町

面積　1912㎡
世帯数　2世帯
人口　4人

歴史

古くは誕生町、あるいは六棟町とも称し、1661年以前に作製された書物には、三棟とともに棟ノ辻子と併記されている。一時は鳴川町に属し、明治22年に奈良町、同31年からは奈良市に所属する。

地名の由来

三棟町にある誕生寺（たんじょうじ）が三棟あることにちなむとも、この地にゆかりのある藤原豊成（ふじわらの　とよなり）の館舎が三棟であったことにちなむともいう。

三棟町に70年間住む深田タツ子さんのお話

Q. なぜ三棟町に？
A. 結婚して、来たのよ。
Q. 三棟町の良いところは？
A. 困ったら助け合えるところ。
この棒もね、腰が悪いからね、
洗濯物してる時とかに休憩できるように近所の人が
作ってくれたのよ。

Q. 町のほとんどが誕生寺というお寺ですよね？

A. そうやね、昔はボランティアとして参拝しに来た人に誕生寺の案内をしてたんよ。

Q. この冊子は？

A. その案内する時に中将姫さんの説明するために渡してましたの。

Q. 誕生寺は尼寺ですよね？

A. そやからね、昔隣の東木辻町に遊郭があった時はね、ここもすごくにぎやかやったけど、誕生寺は遊女さんのかけこみ寺になってたんよ。誕生寺はお庭綺麗やからね、ぜひ行ってみてね。

クイズ！

三棟町にある誕生寺。ここには、貴重なことに二十五菩薩が完全にそろっています。実はこの菩薩たちには、ある共通点があります。それは果たして何でしょうか？

みなみいちちょう
南市町

面積　7843㎡
世帯数　57世帯
人口　151人

歴史

本町は、1532年（天文元年）の奈良一向一揆で中市が荒廃した後、興福寺六方衆が猿沢池の南方の地を定めて新設した市場であった。当初は新市と呼ばれていたが、やがて南市の称が定着した。古くは東寺林町から猿沢池あたりまで芝原があった。

1889年（明治22年）から奈良町、1898年（明治31年）からは奈良市に所属している。大正初期から奈良検番などの芸妓の置場ができ、歓楽街として発展した。近年はスナックやバーが多い。

地名の由来

1687年（貞享4年）発行の『奈良曝』によれば、天文年間に六方衆が新市を開いていた際、奈良の三条通を境界線として南部を南里と呼んでいた。ここから南里の市の意味で「南市」と称するようになったと言われている。

←昔の名残で井戸が残っている
ところもあるよ!

美味しい天ぷら屋さんもあるよ！！→

クイズ！

南市町は鎌倉時代から商業の街として栄え、大正時代からは歓楽街として栄えていました。昔から現在まで商売と隣合わせの歴史を歩んできた南市町ですが、そんな南市町が長年まつり続けている神様とはいったいなんという神様でしょうか？

やくしどうちょう
薬師堂町

面積 11987㎡
世帯数 49世帯
人口　96人

～薬師堂町の歴史～

町の名前の由来としては、この町は元興寺(がんごうじ)の周辺に位置し、元興寺から「大日如来像(だいにちにょらいぞう)」「薬師如来像(やくしにょらいぞう)」がこの町にやってきました。移動された理由としては、室町期、土一揆が多発していたことから、その被害にあい破損することを恐れたため、近隣の町に避難させたと言われています。

そこから、この町にそれをお祀りするため「薬師堂」がつくられ、それが町名になりました。

～突撃！聞き取り調査☆～

自治会長様に聞き取り調査をおこないました。その内容の一部をこちらで紹介していきます！

Q、現在、この町で行事などはおこなっていますか？

A、毎年7月12日に薬師如来像をおまつりした夏祭り、御霊神社(ごりょうじんじゃ)での新春の祝い、古紙回収、そして月に一度、近所の公園の草刈りなどをしています。

Q、学校区との関わりはどうされていますか？
A、高齢の方がふえていますので、介護等でなかなか参加は難しいのが現状です。自治会予算から資金の提供という形で参加するのが精一杯です。
Q、ならまち内での薬師堂町の特色はなんでしょうか？
A、名の由来でもある、薬師堂があったことや、由緒ある御霊神社があることだとおもいます。
Q、町内にあるお店を教えてください！
A、イタリア料理レストラン「リストランテリンコントロ」や着物の着付けを担ってくれるお店やトミー犬猫病院などがあります。

着物の着付けをしてくれるお店

クイズ！

薬師堂町には「御霊神社」があります。ここは病気が流行した際にそれを払ってくれる「御霊信仰」というものがあり、大変御利益があり、現在でも多くの信仰を集めていますが、その他にもご利益があります。

さぁ、それは何でしょうか？
実際に行ってみましょう！

わきどちょう
脇戸町

面積　11201㎡
世帯数　25世帯
人口　66人

歴史

中世のころ、脇戸町には塩を売る商人がいた。このころ、脇戸・椿井・西御門に1軒ずつしか塩を売る商人がいなかった。また、金属加工の職人もいたと言われている。

地名の由来

元興寺の小門にあたるため

元興寺僧坊(そうぼう)南室の脇戸(わきど)に近いため

鎧師(よろい)の脇戸氏が住んでいたためとも言われている。

ちなみに、僧坊とは層が住む建物で、脇戸とは正門の横に設けた小さな門のことである。

脇戸町の自治会の取り組み

町が全体的に高齢化が進んでいっているので、お年寄りの方が住みやすいかを意識しているそうだ。例えば、火災のときにどのようにしていくかの声掛けをしたり、会所に防災グッズを置いたりする。また、どのような方が住んでいるのか(家族構成(こうせい)など)を把握(はあく)するなど小さい町だからできることに取り組んでいるとのことだ。

脇戸町の行事

ごりょうじんじゃ

薬師堂町にある御霊神社の分社が脇戸町にあり、そこで、毎年7月にお祭りを行う。以前は御霊神社の神主さんにも来てもらっていたが、現在は子供たちにもわかってもらうために、夜店風にしている。

脇戸町のグルメ

・お食事処みよし……

おすすめはオムハヤシとツインライス！

雑誌やテレビ取材にきたこともあるそう！

クイズ！

中世のころ、脇戸町に住んでいて、大乗院門跡の正願院の座に属していた商人が売っていたものは何でしょう？

①醤油(しょうゆ)

②塩

③鎧(よろい)

ならまちクイズ！　答え

あ

◆阿字万字町　Aイギリス

◆井上町　田中町という名のバス停があります。

◆陰陽町　②料亭の別宅を改装した。

か

◆川之上町　豊臣秀吉

◆元興寺町　創業者の増尾傅次郎が沖縄の黒糖などを持ち帰った際に、当時、砂糖は珍しいものだったので「砂糖屋の傅次郎で砂糖傳だ。」と呼ばれたから。

◆元林院町　手織りの麻織物

◆北室町　南

◆公納堂町　なーむくん

◆光明院町　120年

さ

◆芝突抜町　②ゴミ捨て、廃品回収

◆芝新屋町　①一軒

◆十輪院町　なーむくん

◆勝南院町　1　住吉大社
　　2　大和野菜

た

◆中院町　③　室町時代に元興寺がわかれてできました。

◆鶴福院町　通れる。

な

◆中新屋町　およそ100年

◆鳴川町　勝手に食べ物をあげること

◆西寺林町　カフェ

◆西新屋町　鹿格子

◆納院町　①茶人

は

◆花園町　観光客‥多言語の張り紙がある。（お風呂の入り方）

町の人たち･･･カラオケがある。

◆　東木辻町　椿井小学校の真横

◆　毘沙門町　②ウサギ

◆福智院町　1　古くなった部分の木材だけを取り除いて新しい木材に変える

2　解答略

◆不審ヶ辻子町　①占い師

ま

◆三棟町　全員、琴や笛などの楽器を持っている。

◆南市町　恵比寿

や

◆薬師堂町　恋愛など

わ

◆脇戸町　③鎧

姉妹本

『ターヘルあすかむら ―明日香村新書―』

奈良県明日香村の、ちょっと変わったガイドブック。
奈良教育大学の社会科教育専修１回生が作成しました。

2017 年２ 月１ 日発行
編集　小野明日香　藤本七彩　山本晃平　大船稀也
監修　岩本廣美　河本大地
発行　奈良教育大学教育学部社会科教育専修
協力　飛鳥ニューツーリズム協議会
　　明日香村地域振興公社

ならまちアナトミア ―解体！ ならまち―

2017 年 3 月 1 日 第 1 刷発行

編集　上嶋あぐり　大井麻莉菜　小野明日香　鈴木淳仁　福井拓夢　古田晶子　山本晃平
監修　河本大地
発行　奈良教育大学教育学部社会科教育専修
　　〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学
協力　飛鳥地区自治連合会　済美地区自治連合会　椿井地区自治連合会　各町の皆様
　　（公社）奈良まちづくりセンター　奈良市　奈良町資料館　奈良町にぎわいの家

© Nara University of Education 2017 Printed in Japan

Nara University of Education